

前平公園再整備に係る旧市民プール跡地活用に関する

サウンディング型市場調査 実施結果

美濃加茂市スポーツ振興課

当市では、平成29年度に作成した前平公園再整備基本構想に基づき、前平公園の再整備を進めていますが、西エリアの旧市民プール跡地に民間事業者等の自由で魅力的なアイデアやノウハウを取り入れることで、前平公園を「多世代が気軽に訪れる健康づくりの場」にしたいと考えています。

この度、前平公園再整備に係る旧市民プール跡地の活用について事業内容や事業手法を決定する際の参考とするために、民間事業者等との「対話」を行い、5事業者様からアイデアの提案をいただきましたので、結果の概要を公表します。

1 サウンディング型市場調査の経過

日 ち	実 施 内 容
令和2年2月1日(土)	サウンディング型市場調査 実施要領を公表
令和2年2月25日(火)10:00～11:30	事前説明会の開催 参加者:7事業者
令和2年7月2日(木)13:30～16:30 令和2年7月10日(金)9:30～11:30	サウンディング型事情調査 実施 参加者:5事業者

■開催日時 令和2年7月2日(木)13:30～16:30
令和2年7月10日(金)9:30～11:30

■場 所 美濃加茂市中央体育館プラザちゅうたい ミーティングルーム

■結果概要 サウンディング市場調査をした結果は、次のとおりである。

● 健康診断ができるような会場の提案

- ⇒ 喫茶店等を設け、明るい雰囲気の中実施することで、受診率の向上につなげる
- ⇒ 調理実習室を一部設けることで近隣の企業からの活用も促す(食と健康)
- ⇒ 健診によって2回3回と足を運んでもらう必要をなくすことが可能
- ・ 活用方法によっては地域の企業の利用を促すことも可能
- ⇒ 例えばマザック博物館と合わせて地域の中で廻れるような健康に関する博物館(施設)の建

設(コロナウイルスなど後世に伝えていくことが必要)

● 競技にも使える屋内水泳施設を提案

- ・ 競技に使えることにより、他の水泳施設との差別化を図る
- ・ 施設の建設にあたり、付属施設をどれだけ作れるかが重要
- ・ 市で施設を建設してもらい、民間が運営することになれば可能性有り
- ➔ 民設民営であれば、1～2年程度で実施することが可能。公設であれば、検討の余地があるため3～4年以上要してしまう。
- ・ 現在のプール跡地にプールをつくるのであれば、現状の土地を平らにする必要がある
- ・ 前平公園にプールを改めて設置することでスポーツ公園として拡充が図れるのではないかと

● 健康増進施設の民設民営は現状では厳しい

- ・ プールをつくる価値があるかどうかの判断が必要
- ・ 前平公園周辺は人口密度が低く、市場が厳しい環境にある
- ・ 自主事業であればスイミングスクールがあるが、市内には複数の民間プールがあり、学校水泳以外の事業が厳しい
- ・ プールよりもトレーニングジムの需要があるかもしれない
- ・ コンビニジム(低コストで安価)であれば集客の可能性あり

● テニスの聖地としてテニス施設の拡充

⇒ テニス利用者が多いことからテニスコートを拡充し、美濃加茂市のテニスの聖地としての活用の検討をしてはどうか

● 比較的安価にできる施設の提案

- ⇒ 具体的にはスケートボードパークの提案
- ⇒ その他ボルダリングの設置をすることでより多くの方の利用に繋がる
- ・ スケートボードパークであれば、BMX やインラインスケート等の幅広い活用が可能
 - ・ 中部地区の大会参加者は多いが、練習場が近場であまりないため利用が見込める

● 合宿所設置の提案

⇒ 市内には大きな公園(清流里山公園、リバーポートパーク、文化の森など)があるが、既存の野球場、テニスコートを整備しつつ、総合運動公園として拡充させてはどうか

● 市内企業と提携しながら企業の福利厚生を兼ねた施設の提案

- ・ 健康診断、生活習慣病を指導する施設、食生活から変えていくキッチンスタジオの設置
- ・ 市民の健康の向上に繋がる

- ・ 整備にお金がかかることが課題
- ・ 機能として保健センターと重複する可能性がある

● **プール跡地を多様な水景施設を取り入れた、より集客誘因力のある事業計画として提案**

- ・ 現状の高低差ができているところは、滝を作って利用する
 - ・ 集客できるような施設を演出
- ⇒ プールの代わりに清涼感も味わうこともでき、安全に運営することが可能
- ・ プール跡地を水景施設にしている事例が多くある
 - ・ 井戸の設置も可能
- ⇒ 井戸をつくる場合は、藻が発生しやすいため、水質管理を徹底して行うことが必要。
- ・ 前平公園東側の噴水も併せて整備できるといい

● **会員制(プール付き)フィットネス施設+デイサービス施設等の提案**

- ・ フィットネスとデイサービスの複合施設としての提案
- ・ リハビリ等でフィットネスの利用が可能
- ・ デイサービスの利用者も一般の人と触れ合えることがメリット
- ・ 水景も整えることで、多様な水景施設としてのアピールが可能となる

● **マルチ・ロボット・パーク+カフェの提案**

- ・ 市の企業を巻き込み次世代に向けた施設に、そして、知の好奇心を満たせる施設を展開
- ・ カフェでは、乳幼児～幼児向けの室内外遊戯施設(使用は有料)などを併用し、雨天時にも利用可能な施設や幼児遊具の物販、既設テニスコート利用者などの運動具の物販を兼ねる機能などを付加する。加えて、営業時間も長くするため、水景施設の夜間照明による近在には見られない景観演出による集客力向上を図る
- ・ マルチ・ロボット・パークのカフェでは、極力人件費を縮減する自動コンビニエンス式(無人化)のカフェも検討する

事業(運営)方式・・・DBO 方式または BOT 方式等(事業主体者との協議による)

公共事業として市が整備することが前提となる。また、事業を実施する上で、共同事業体として実施することになるため他の企業等の参画が必要不可欠となる

■ **今後について**

今回のサウンディング型市場調査により、民間事業者の皆様から様々なご意見やアイデアをいただきました。このようなアイデアを生かし、前平公園再整備に係る旧市民プール跡地が有意義に活用できるよう、市で議論し検討していきます。